患者向医薬品ガイド
2024年 12月更新

カルボプラチン注射液50mg「日医工」
カルボプラチン注射液150mg「日医工」
カルボプラチン注射液450mg「日医工」

【この薬は？】

販売名	カルボプラチン注射液50mg「日医工」 Carboplatin Injection 50mg	カルボプラチン注射液150mg「日医工」 Carboplatin Injection 150mg	カルボプラチン注射液450mg「日医工」 Carboplatin Injection 450mg
一般名	カルボプラチン Carboplatin		
含有量 (1バイアル中)	50mg	150mg	450mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。
したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。
医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。
さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、抗悪性腫瘍剤で、白金を含むグループに属する注射薬です。
・この薬は、がん細胞のDNA合成を阻害する作用により、がん細胞の増殖を抑制します。
・次の病気と診断された人に、医療機関において使用されます。
頭頸部癌，肺小細胞癌，睾丸腫瘍，卵巣癌，子宮頸癌，悪性リンパ腫，非小細胞肺癌，乳癌，子宮体癌
以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法
小児悪性固形腫瘍（神経芽腫・網膜芽腫・肝芽腫・中枢神経系胚細胞腫瘍，再発又は難治性のユーイング肉腫ファミリー腫瘍・腎芽腫）

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○患者さんまたは家族の方は、この薬の効果や注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意をした場合に使用が開始されます。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

・重篤な骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少など）のある人

・過去にカルボプラチン注射液「日医工」に含まれる成分や他の白金を含む薬に対し過敏症を経験したことがある人

・妊婦または妊娠している可能性がある人（動物実験で、胎児の奇形や胎児の死亡が認められたとの報告があります。）

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少など）のある人

・腎臓に障害がある人

・肝臓に障害がある人

・感染症にかかっている人

・水痘（みずぼうそう）にかかっている人

・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

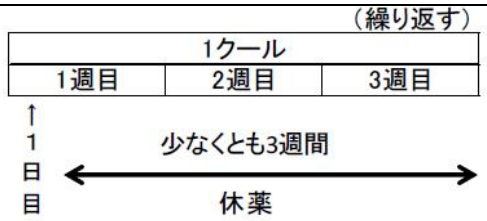
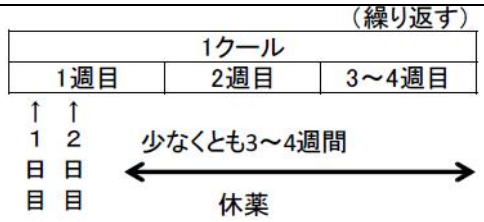
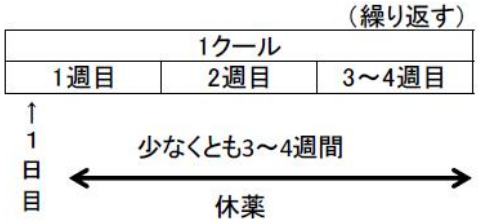
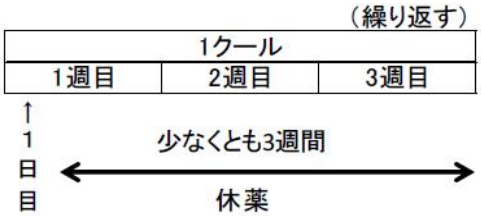
この薬は注射薬です。

●使用量および回数

通常、成人の使用する量と使用方法は、あなたの体表面積（身長と体重から計算）や症状の程度などにより、医師が決め、医療機関において注射されます。

<table>
<tr><th colspan="2">がんの種類</th><th>使用方法</th></tr>
<tr><td colspan="2">頭頸部がん，肺小細胞がん，睾丸腫瘍，卵巣がん，子宮頸がん，悪性リンパ腫，非小細胞肺がん</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">乳がん</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小児悪性固形腫瘍</td><td>神経芽腫・肝芽腫・中枢神経系胚細胞腫瘍，再発又は難治性のユーイング肉腫ファミリー腫瘍・腎芽腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合</td><td>3-1</td></tr>
<tr><td>網膜芽腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合</td><td>3-2</td></tr>
<tr><td colspan="2">子宮体がん</td><td>4</td></tr>
</table>

縦の矢印で示す日に使用し、その後休薬します。副作用の程度などにより、1回の使用量や使用間隔が変更されることがあります。

1	300～400mg/m^2（体表面積）を1回注射します[注]。	
2	トラスツズマブ(遺伝子組換え)及びタキサン系抗悪性腫瘍剤と併用します。 300～400mg/m^2（体表面積）を1回注射します[注]。	
3-1	イホスファミドとエトポシドと併用します。1日間かけて 635mg/m^2（体表面積）を持続注射します。	
	又は 2 日間かけて 400mg/m^2（体表面積）を持続注射します。	
3-2	ビンクリスチン硫酸塩とエトポシドと併用します。1日間かけて 560mg/m^2（体表面積）を持続注射します。 36ヵ月齢以下の患児には、1日間かけて 18.6mg/kg を持続注射します。	
4	他の抗悪性腫瘍剤と併用します。AUC（血中濃度曲線下面積）5～6mg・min/mL 相当量を1回注射します[注]。	

[注]：30分以上かけて注射します。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・骨髄抑制（貧血、発熱、出血しやすい、血が止まりにくいなど）などの重篤な副作用がおこることがあるので、臨床検査（血液検査、肝機能検査、腎機能検査など）が行われることがあります。使用が長期間にわたると副作用が強くあらわれ、長引くことがあります。
・腫瘍崩壊症候群があらわれることがあるため、血清中電解質濃度や腎機能の検査が行われることがあります。
・G-CSF 製剤が使用されることがあります。
・消化器症状（吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振など）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合にはすぐに医師、薬剤師、看護師に連絡してください。
・体の抵抗力が弱まり、かぜのような症状、からだがだるい、発熱などの感染症にかかりやすくなることがあります。人ごみを避けたり、外出後は手洗いやうがいなどをしたり、感染症にかからないように気をつけてください。
・出血しやすくなることがあります。出血傾向（歯ぐきからの出血、出血が止まりにくい、あおあざができる、鼻血など）の症状があらわれたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。
・性腺（生殖腺）に副作用があらわれやすくなります。小児の場合や今後子供を望まれる場合は、医師に相談してください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
・妊娠する可能性のある女性やパートナーが妊娠する可能性がある男性は、この薬を使用している間および使用を終了してから一定期間は適切に避妊してください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ 【汎血球減少】 めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み 【貧血】 体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ

重大な副作用	主な自覚症状
	【白血球減少】 突然の高熱、寒気、喉の痛み 【好中球減少】 発熱、寒気、喉の痛み 【血小板減少】 鼻血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい 【出血】 出血
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、体がだるい、むくみ
ファンコニー症候群 ふぁんこにーしょうこうぐん	筋力の低下、骨痛
肝不全 かんふぜん	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
消化管壊死、消化管穿孔 しょうかかんえし、しょうかかんせんこう	吐き気、嘔吐、寒気、発熱、激しい腹痛、ふらつき、息切れ、意識の低下、お腹が張る、下痢、便に血が混じる
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る
消化管潰瘍 しょうかかんかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
出血性腸炎 しゅっけつせいちょうえん	激しい腹痛、血が混ざった下痢、発熱、ふらつき、息切れ
偽膜性大腸炎 ぎまくせいだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる
麻痺性イレウス まひせいいれうす	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る

重大な副作用	主な自覚症状
脳梗塞 のうこうそく	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
肺梗塞 はいこうそく	発熱、血の混じった痰、胸の痛み、息苦しい
血栓・塞栓症 けっせん・そくせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい、吐き気、嘔吐、胸の痛み、激しい腹痛、お腹が張る、足の激しい痛み
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重が増える
溶血性尿毒症症候群 ようけつせいにょうどくしょうしょうこうぐん	尿量が減る、むくみ、体がだるい、意識の低下、意識の消失、けいれん、深く大きい呼吸、食欲不振、紫色のあざ
急性呼吸窮迫症候群 きゅうせいこきゅうきゅうはくしょうこうぐん	息苦しい、呼吸が浅くなる、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈が速くなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる
播種性血管内凝固症候群（DIC） はしゅせいけっかんないぎょうこしょうこうぐん（でぃあいしー）	あおあざができる、鼻血、歯ぐきからの出血、血尿、便に血が混じる、意識の低下、息切れ、動悸、尿量が減る、皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
難聴 なんちょう	人の声、音が聞こえづらい、耳鳴り、耳がつまる感じ
白質脳症（可逆性後白質脳症症候群を含む） はくしつのうしょう（かぎゃくせいこうはくしつのうしょうしょうこうぐん）	頭痛、意識の低下、意識の消失、けいれん、視力障害、歩行時のふらつき、口のもつれ、動作が鈍くなる
腫瘍崩壊症候群 しゅようほうかいしょうこうぐん	意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ
うっ血乳頭 うっけつにゅうとう	視力の低下
球後視神経炎 きゅうごししんけいえん	視力の低下、中心部が見づらい、目のかすみ、目を動かすと痛い
皮質盲 ひしつもう	目が見えない
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、出血、出血が止まりにくい、出血しやすい、体がだるい、突然の高熱、冷汗が出る、ふらつき、むくみ、骨痛、体がかゆくなる、体重が増える、急激に体重が増える、疲れやすい、力が入らない、食欲不振、脱力、まひ、けいれん、動作が鈍くなる
頭部	頭が重い、めまい、頭痛、激しい頭痛、意識の消失、意識の低下、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい、失神
顔面	鼻血、顔面蒼白
眼	白目が黄色くなる、目のかすみ、視力障害、視力の低下、中心部が見づらい、目を動かすと痛い、目が見えない
耳	耳鳴り、人の声、音が聞こえづらい、耳がつまる感じ
口や喉	喉の痛み、歯ぐきからの出血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、喉のかゆみ、咳、吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、血の混じった痰、舌のもつれ、しゃべりにくい、痰、唇が青紫色になる、口のもつれ
胸部	動悸、息切れ、息苦しい、胸の痛み、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、しめ付けられるような胸の痛み、深く大きい呼吸、呼吸が浅くなる、呼吸がはやくなる
腹部	お腹が張る、腹痛、激しい腹痛、胃がむかむかする、激しい上腹部の痛み
背中	背中の痛み
手・足	手足が冷たくなる、突然片側の手足が動かしにくくなる、ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、足の激しい痛み、脈が速くなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、歩行時のふらつき
皮膚	あおあざができる、全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる、紫色のあざ、お腹にあざができる
筋肉	筋力の低下
便	下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、便に血が混じる、黒い便が出る、血が混ざった下痢、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、便やおならが出にくい
尿	尿量が減る、尿の色が濃くなる、血尿

【この薬の形は？】

販売名	カルボプラチン注射液 50mg「日医工」	カルボプラチン注射液 150mg「日医工」	カルボプラチン注射液 450mg「日医工」
性状	無色～微黄色澄明の注射液		
形状	無色ガラス製バイアル		
	    キャップ	 キャップ	 キャップ

【この薬に含まれているのは？】

販売名	カルボプラチン注射液 50mg「日医工」	カルボプラチン注射液 150mg「日医工」	カルボプラチン注射液 450mg「日医工」
有効成分	カルボプラチン		
添加剤	pH 調節剤		

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社（https://www.nichiiko.co.jp）

くすりの相談窓口の電話番号　TEL（フリーダイアル）：(0120) 039-215

受付時間：9 時～17 時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）